

52	名称	マツ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1600~2000m程度	日当たりが良く水はけの良い場所を好む。	他の植物とは異なり、花を咲かせた翌年の秋に実が成熟する。
樹高	20m以上	マツ科	特徴、由来など	松はマツ科マツ属の総称である。昔からクロマツが雄松、アカマツが雌松といわれているが、松に雄雌はなく容姿や葉の形態からの区分である。	
科名	マツ科				



アカマツ



ゴヨウマツ



クロマツ

53	名称	マユミ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1500m程度	日陰でも育つが、花や実のつきが悪くなるため日当たりが良い場所を選ぶ。	5~6月頃、枝先に8mmの淡緑色の花をまばらに咲かせる。
樹高	5m以下	ニシキギ科	特徴、由来など	昔、この材で弓を作ったことから「マユミ(真弓)」という名が付いている。材は白く、緻密で狂いが少ない。葉が両面とも無毛のものをカンサイマユミ、裏面の脈状に毛があるものをカントウマユミとして区別することもある。	
科名	ニシキギ科				

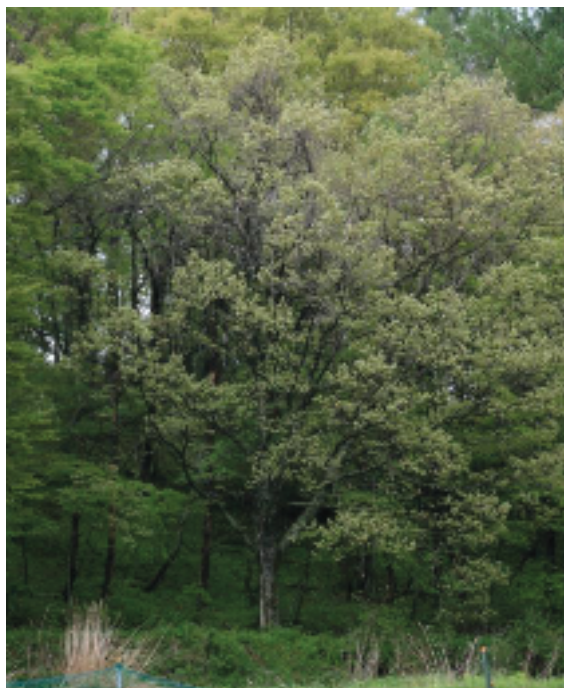


54	名称	マンサク	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1400m程度	日当たりが良く、肥沃で水はけが良く、なおかつ保湿性の良い土壌を好む。	霜に負けず2月頃から咲き始める。細い花弁でユニーク。
樹高	5m以下		特徴、由来など	和名の「マンサク(満作)」は、黄色の花が枝にたくさん咲くので「豊年満作」からきたという説と、「まず咲く」がなまったという説がある。	
科名	マンサク科				



穂吹きマンサク

55	名 称	ミズナラ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1500m程度	あまり日陰すぎると枯れてしまうため、基本的に日当たりの良い場所を好む。	5～6月に花を咲かせ、10～11月に2cm程の実を熟す。
樹高	20m以上		特徴、由来など	樹皮は黒褐色で縦に不規則な裂け目ができる。葉の形の似たコナラとは、葉の大きさ、鋸歯の粗さ、葉柄の長さで区別することができる。材に水分が多く燃えにくいところから「ミズナラ(水櫓)」という名が付いた。	
科名	ブナ科				



56	名称	ムクゲ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1000m程度	日当たり、水はけが良い場所を好み、土質は特に選ばない。	紅、桃、紫、白などの花を咲かせ、7～9月の3ヶ月と花期が長い。
樹高	5m以下		特徴、由来など	若木のうちからよく花を咲かせ、強い剪定にも耐えるので庭木としてだけでなく、寄せ植えなどにも利用できる。	
科名	アオイ科				



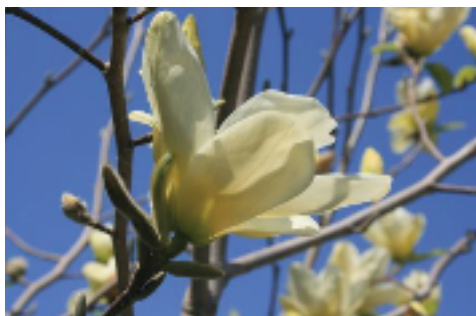
57	名称	ムラサキシキブ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1200m程度	半日以上日が当たり、肥沃な場所に植えると実つきが良くなる。	6月頃、葉の付け根から小さな花を咲かせる。
樹高	5m以下		特徴、由来など	和名は果実の美しさを紫式部に例えたとの説があるほど。花も綺麗。幹はまっすぐで強いため、道具の柄や杖などに用いられ昔から親しまれてきた。果実が白い品種はシロキシキブという。	
科名	クマツヅラ科				



58	名称	メタセコイア (アケボノスギ)	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1600m程度	日当たりが良く、やや湿った肥沃な土壌を好む。	2～3月頃に花が咲き、球果は10月頃成熟して褐色になる。
樹高	20m以上		特徴、由来など	メタセコイアは新生代第三紀(約6,500万年前～約200万年前)に栄えていた植物で、絶滅種とされていた。しかし、1946年に中国の四川省で現存種が発見され、生きる化石として有名になった。	
科名	スギ科				



59	名称	モクレン	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1200m程度	日当たりが良く、水はけの良い場所が適する。	4～5月、葉の出る前に枝先に暗紫紅色の花を上向きに付ける。
樹高	5m以下		特徴、由来など	モクレン類は中国原産で、日本には自生していないが、春の庭木としてなじみ深い。花は横から見ると中央部がくびれて見えるのが特徴である。花の白いハクモクレンは、樹高が15m以上にもなる大木になる。	
科名	モクレン科				



60	名称	モミ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			2000m程度	日当たりが良く、極端な乾燥を避けた肥沃な土壌を好む。	5月頃花を咲かせ、10月頃に10～15cm程の球果が成熟する。
樹高	20m以上	特徴、由来など		広い地域に生える日本特産の常緑針葉樹で、大きいものの樹高は40mに達する。樹皮は暗灰色でうろこ状にはげる。大気汚染に弱いため、都市には不向きである。モミによく似たウラジロモミという種も存在する。	
科名	マツ科				

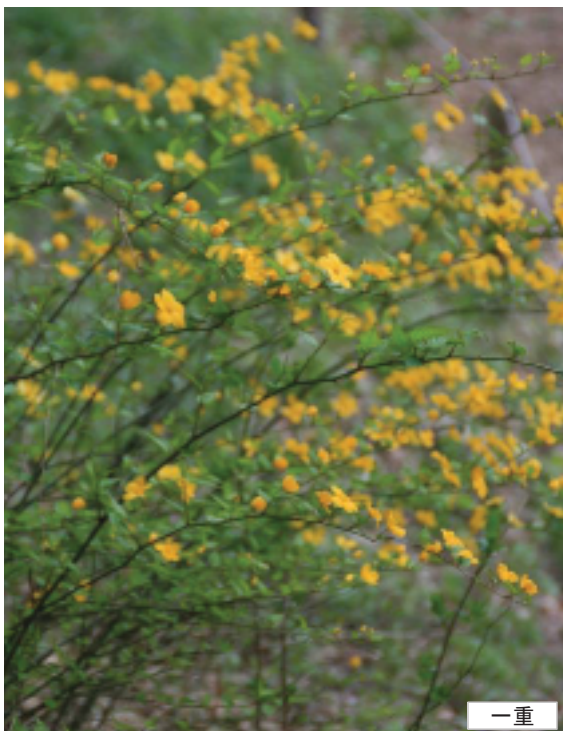


ウラジロモミ



モミ

61	名称	ヤマブキ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1600m程度	肥沃な湿地を好み、半日以上日の当たる場所に植える。	4～5月頃に4cm程の黄金色で美しい花を咲かせる。
樹高	5m以下	特徴、由来など		剪定は枯れ枝を除く程度にとどめておく。和名の「ヤマブキ(山吹)」は、古くは「山振」の字があてられていて、しなやかな枝が風に揺れる様子から名付けられたといわれている。	
科名	バラ科				

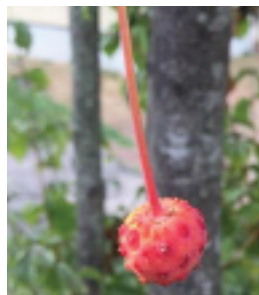


一重



八重

62	名称	ヤマボウシ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1500m程度	日当たりの良いところ、少なくとも午前中日が入るところが良い。	5～6月に花が咲き、果実は8月下旬～9月にかけて赤く熟す。
樹高		5m～20m	特徴、由来など	自然に樹形が整うので、特に剪定は行わない。 紅花種は日当たりが良い方が発色が良い。	
科名		ミズキ科			



63	名称	ユキヤナギ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1600m程度	日当たりと風通しが良い場所が適し、防寒対策も特に必要ない強健な樹木。	4月頃、新葉と同時に8mm程の純白の花を咲かせる。
樹高	5m以下		特徴、由来など	「ユキヤナギ(雪柳)」という名の通り、雪が積もったように白い花が付く姿が美しい。そのため、庭に植えられたり、生け花の材料にされたりと愛されている。寒さに強く、霜に当たって根が枯れることもない。	
科名	バラ科				



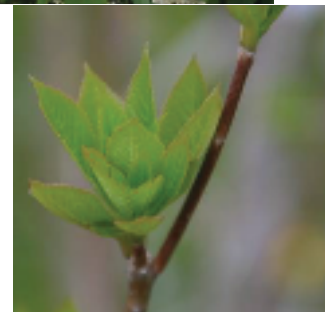
64	名称	ユリノキ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1300m程度	日当たりの良い場所が適する。半日陰だと成長速度が遅くなる。	5～6月に帯黄緑色のチューリップに似た花を咲かせる。
樹高		20m以上	特徴、由来など	花の形がチューリップに似ているため、英名がチューリップ・ツリーであり、また葉の形が半纏(はんてん)に似ているためハンテンボクとも呼ばれている。	
科名		モクレン科			



65	名称	ライラック	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1200m程度	日当たりが良く水はけの良い場所に植える。西日には大変弱いので注意。	4～5月、枝先の葉腋から淡紫色の花を密に付ける。
樹高	5m以下		特徴、由来など	明治中期にヨーロッパから渡来して以来、観賞用として広く植えられている。花には強い芳香があるため、香水の原料としても使われている。また色には変化が多く白い変種をシロライラックという。	
科名	モクセイ科				



66	名称	リョウブ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1200m程度	日当たりの良い場所を好むが、西日は避けるようにする。	7～8月、枝先に穂になって白い花を咲かせる。
樹高	5m～20m		特徴、由来など	樹皮は薄片となつてはがれ、茶褐色でなめらか。また上質の木炭になる。 若芽は一応食べることができるが、美味しくないため山菜としては一般的に使われない。	
科名	リョウブ科				



67	名称	リンゴ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			900m程度	冷涼な気候で日当たりの良い場所を好む。	種類によって実の大きさや甘味、酸味、収穫期が異なってくる。
樹高	5m～20m		特徴、由来など	日本で栽培されている品種の多くは、明治初期に輸入されたものである。セイヨウリンゴが輸入されるまでは、ワリンゴを食用としていた。現在ではワリンゴの幹は、接ぎ木として使われている。	
科名	バラ科				



68	名称	レッドロビン	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1000m程度	日当たり、水はけが良い肥沃な土壌を好む。	5～6月頃に花が咲くが、ほとんど実 は付けない。
樹高	5m以下		特徴、由来など	花粉が未成熟なため、ほとんど実を付けることがなくやたらと増えない。新芽のみ赤くなる。寒さや剪定にも強い。	
科名	バラ科				



69	名称	レンギョウ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1200m程度	日当たりと風通しが良く、適度に湿り気のある土壌を好む。	4月頃に2.5cm程の黄金色の花を咲かせる。
樹高	5m以下		特徴、由来など	中国が世界に送り出したもので、世界中に植えられている。 樹形が横に展開するタイプ。日本産のヤマトレンギョウがある。	
科名	モクセイ科				



指導・助言者・写真協力者

景観形成緑化推進部会

緑化マニュアルグループ

森 元 隆

保 科 秀 子

平 澤 俊 一

岡 角 孝 久

今 井 修 身

松 野 隆 治



茅野市緑化マニュアル

平成31年4月発行

編集/景観形成緑化推進部会
発行/茅野市（都市計画課公園景観係）
長野県茅野市塚原2－6－1
電話：0266-72-2101